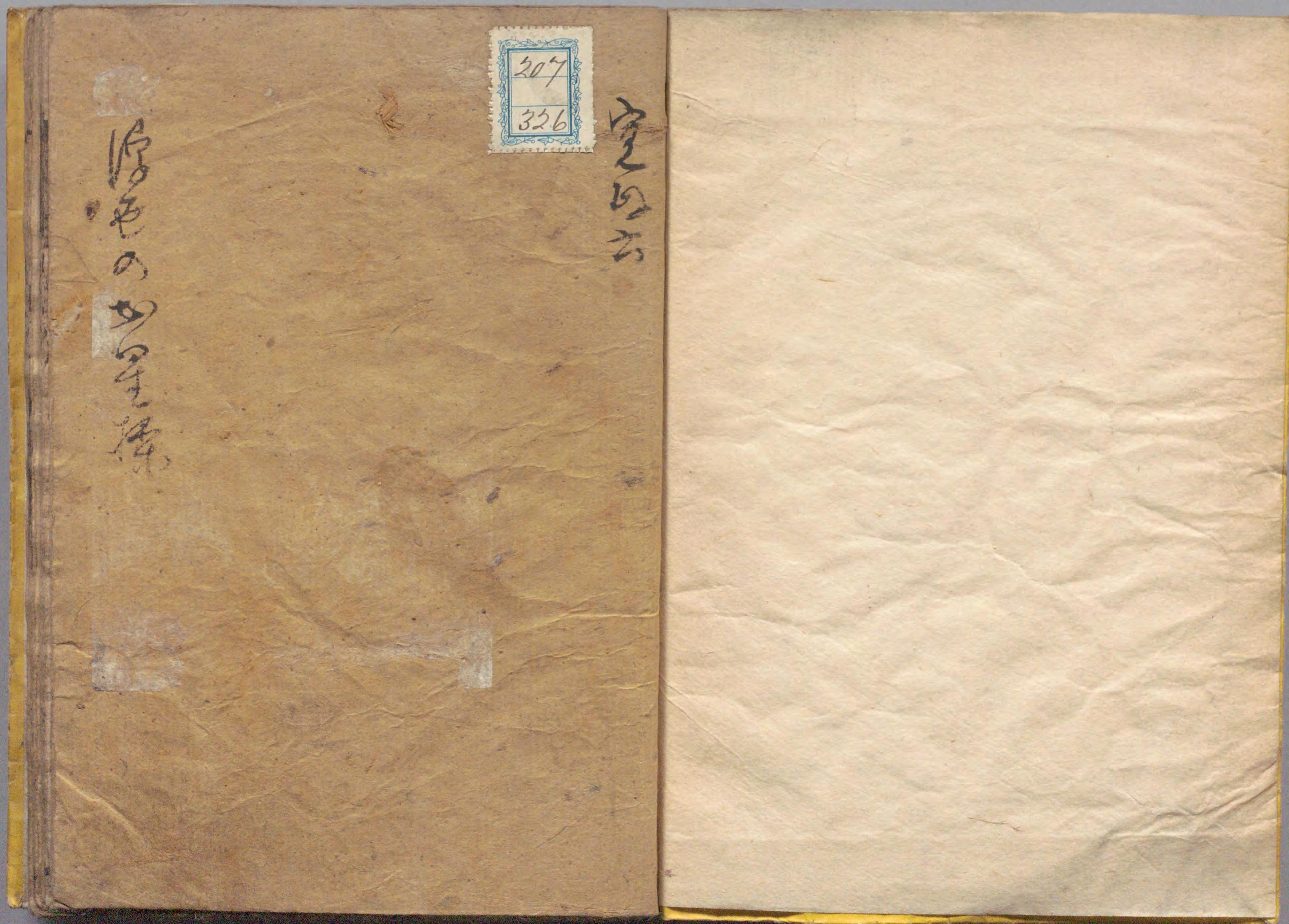
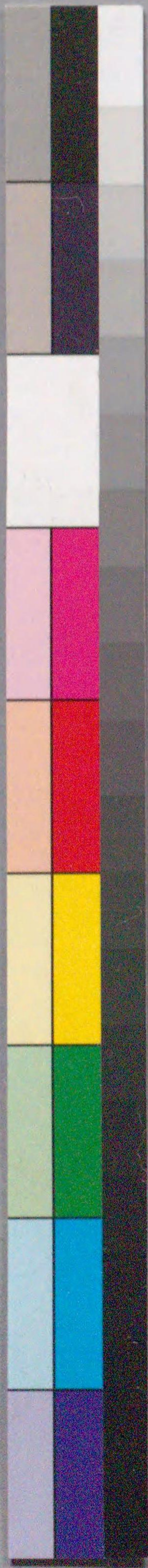


天道浮世出星

207  
326







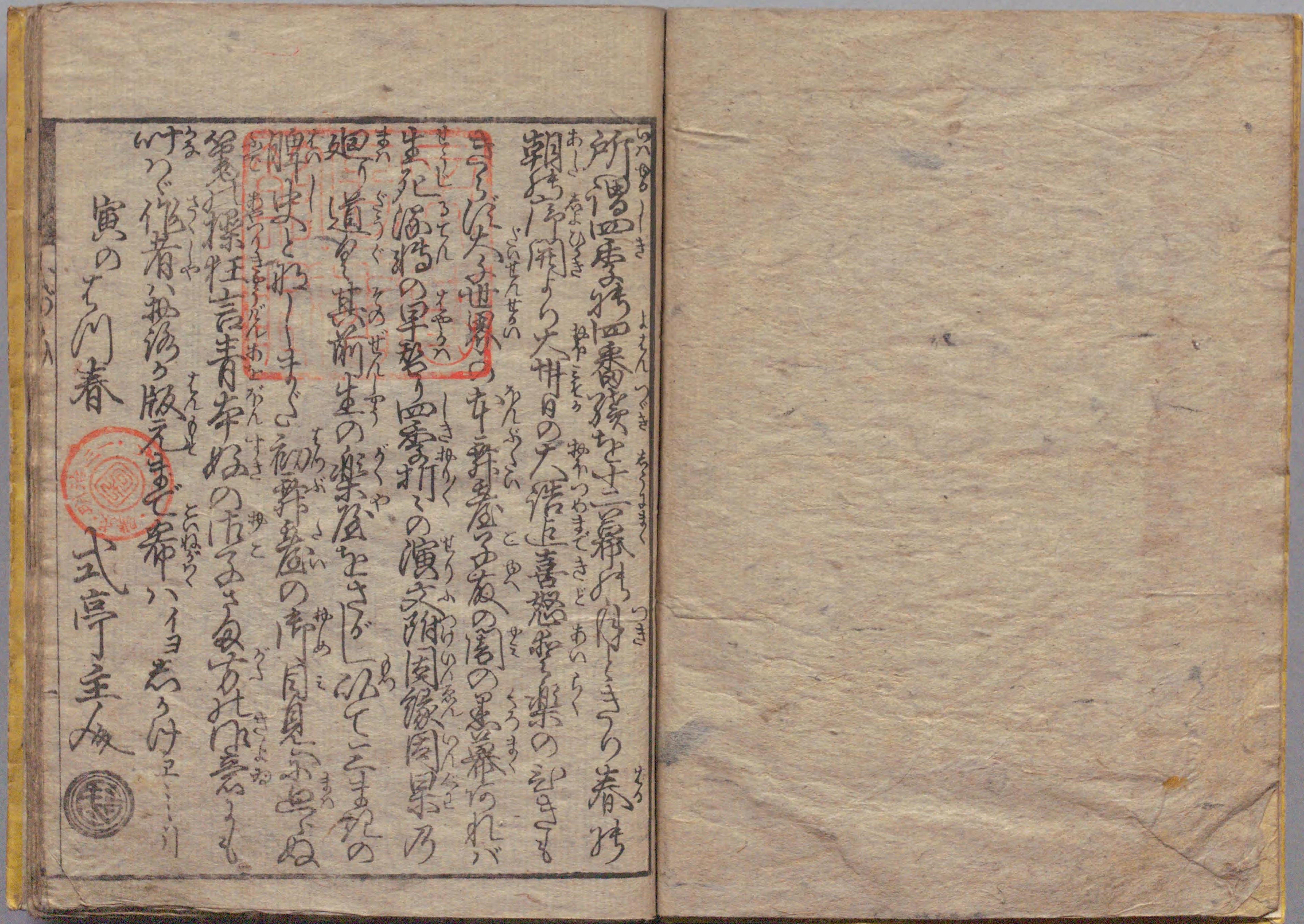
浮世の出星操

207  
326

浮世の出星操



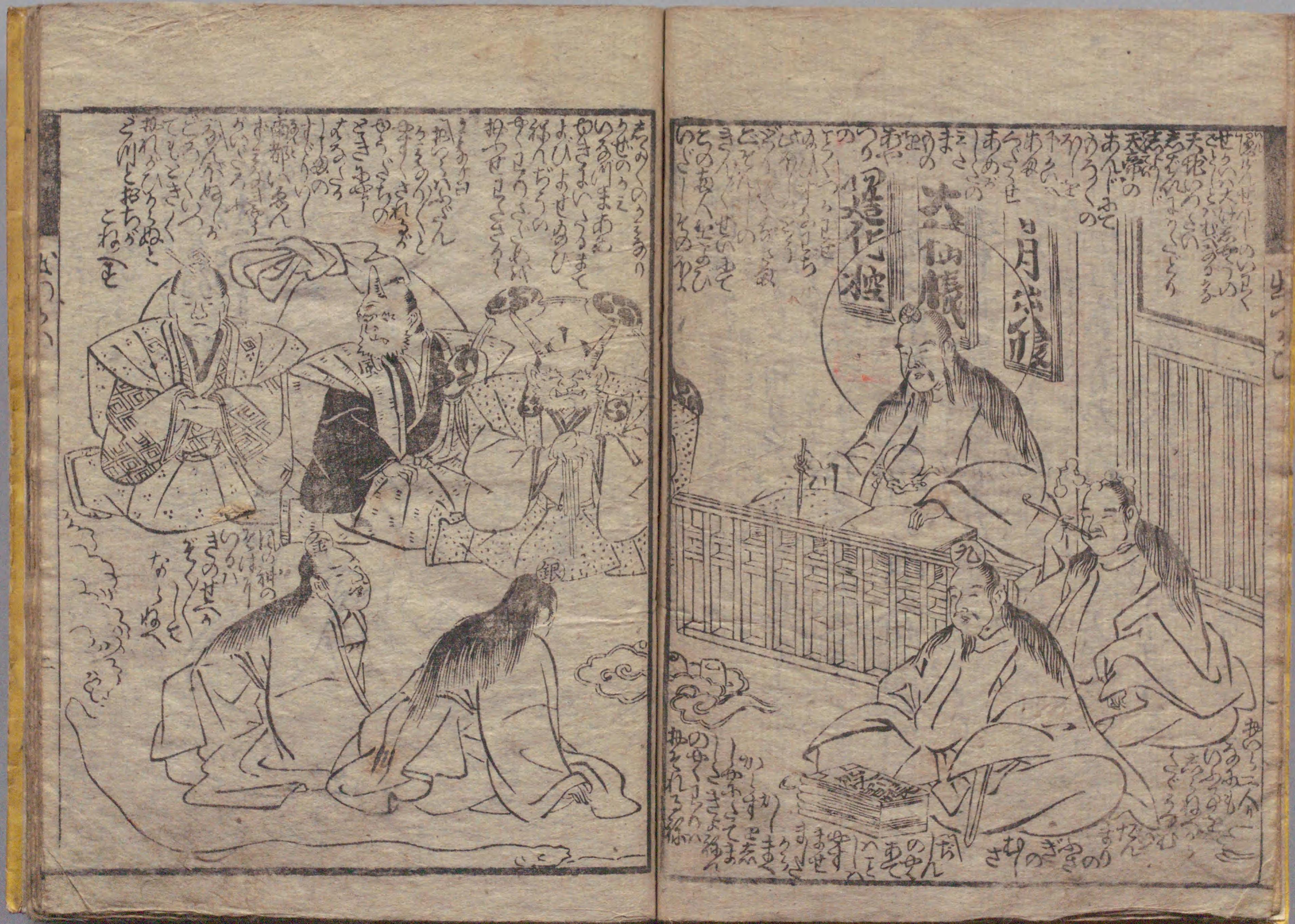




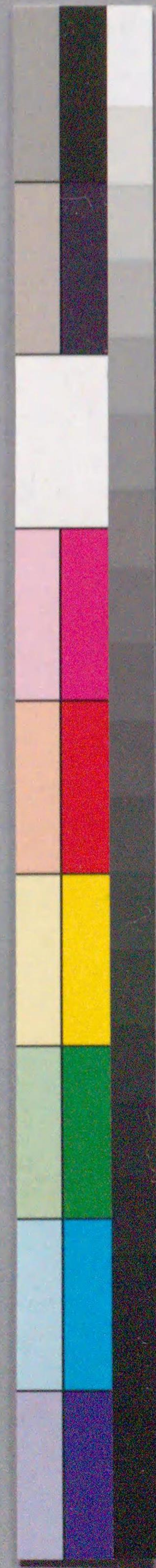
所謂四喜坊四番猿を十二幕に付しつゝの春猿  
 朝持序開より大井日の天活上喜怒おも樂の記すも  
 ころはは子世界の一本舞臺を子夜の闇の星幕られバ  
 生死海猪の早替り四喜打の演文附因縁因果乃  
 廻り道を其前生の樂座をさばりてこまの  
 牌使と稱し一まごの初舞臺の序自身ふゆぬ  
 第巻は標狂言青本好の市子さぬ方れば意も  
 けり作者お流り版元まで希ハイヨおうけエーリ  
 寅のちの春  
 式亭主人



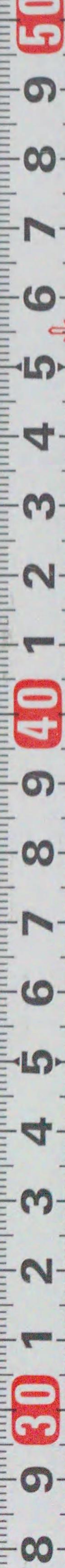








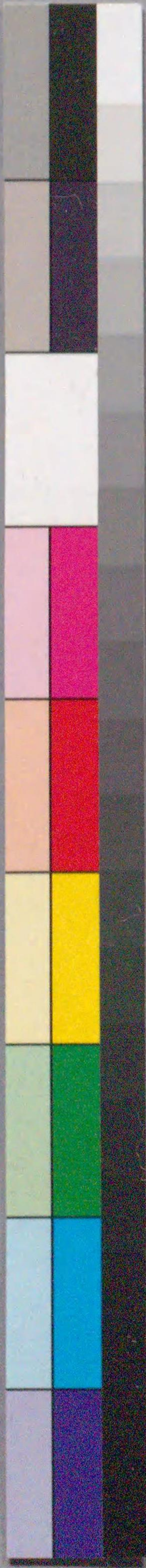




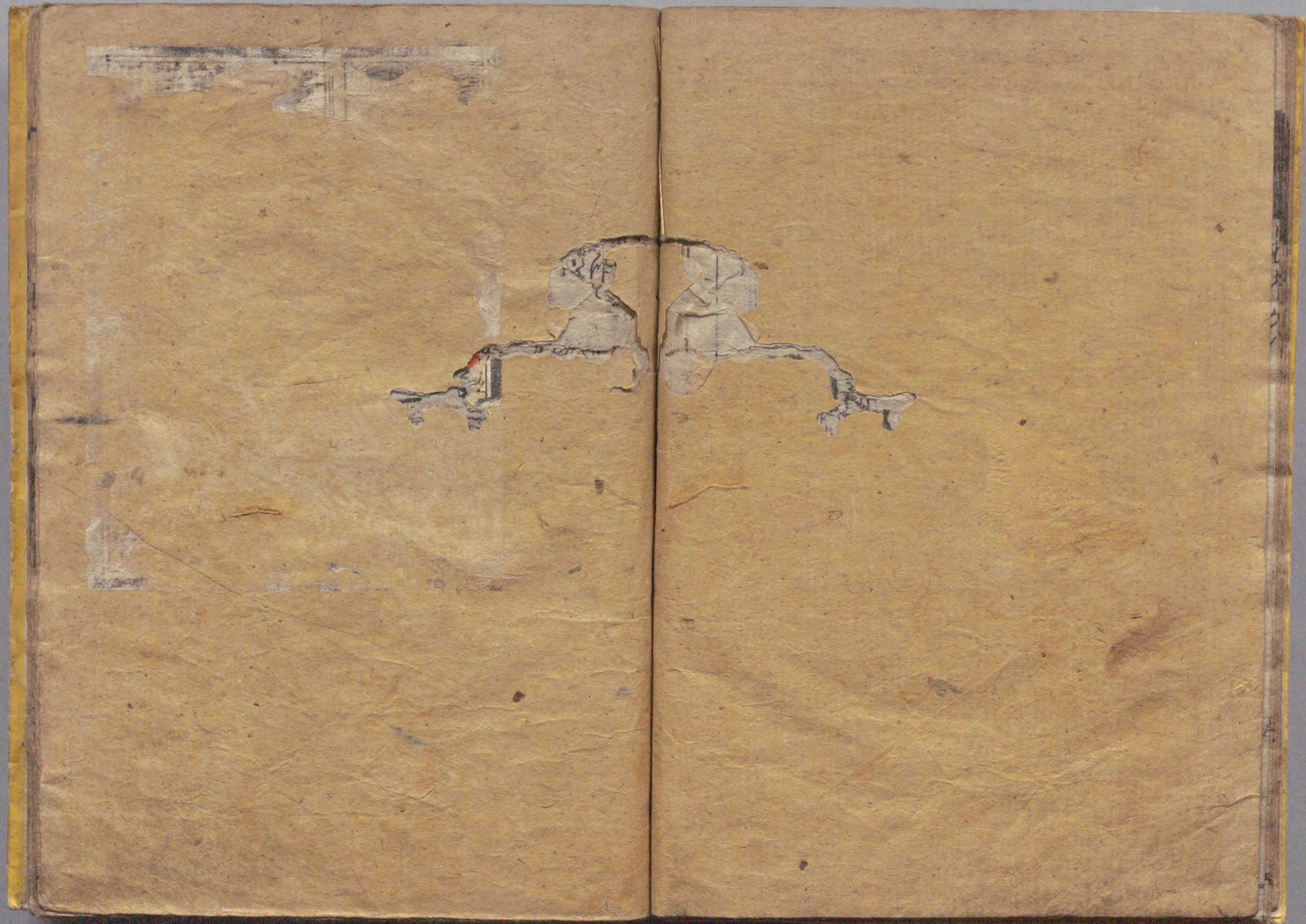
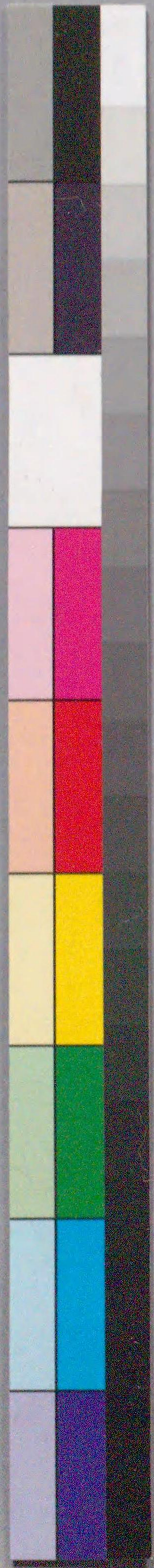




























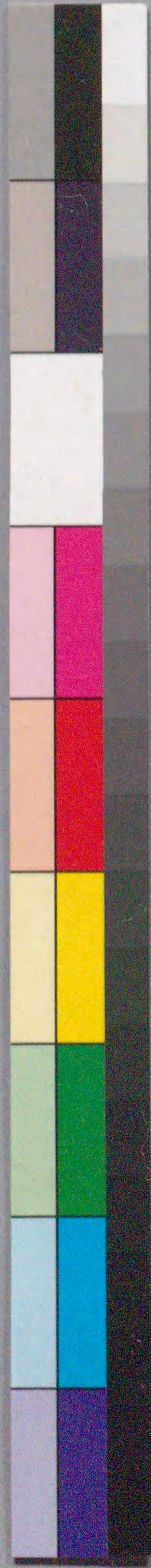
















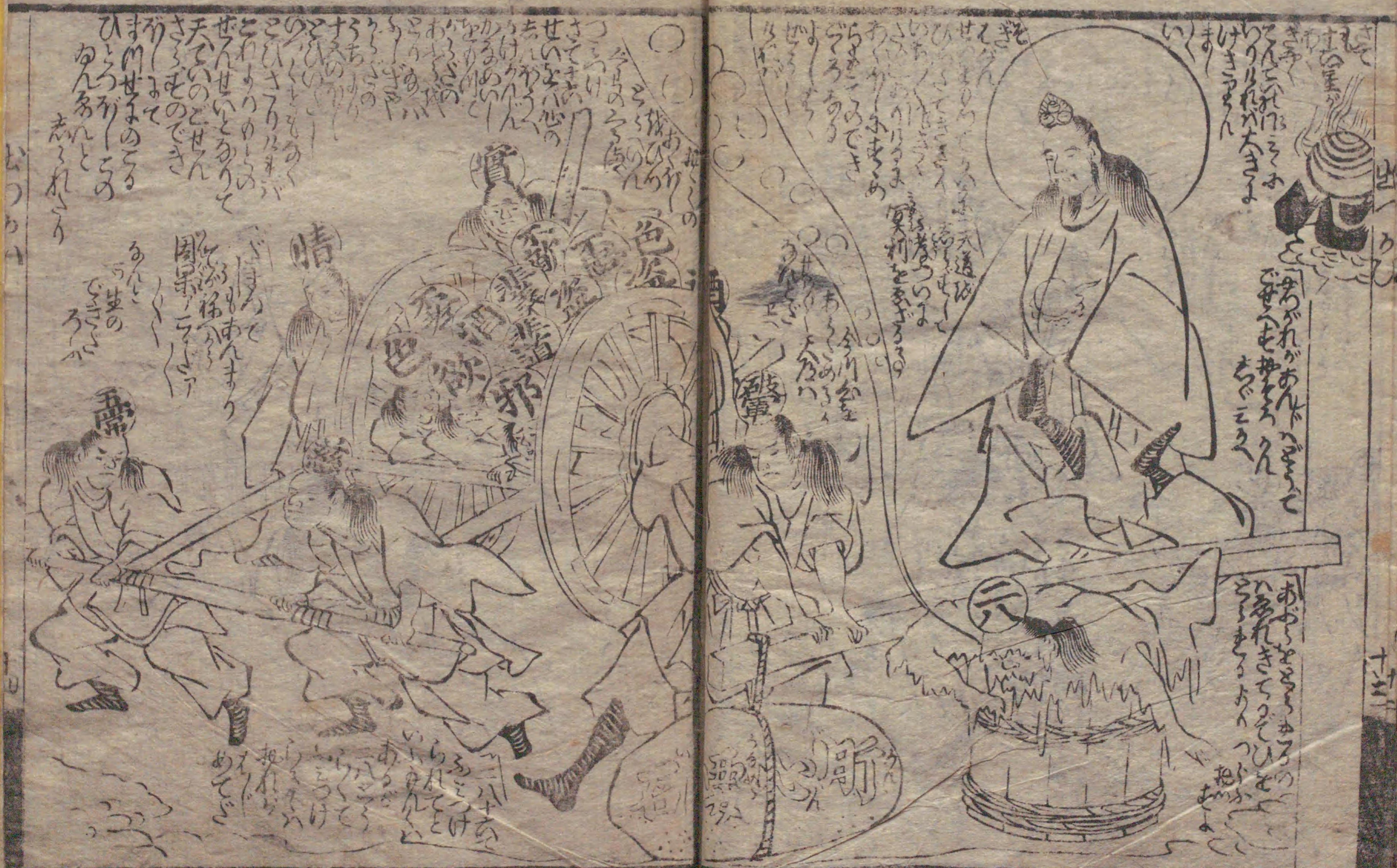




















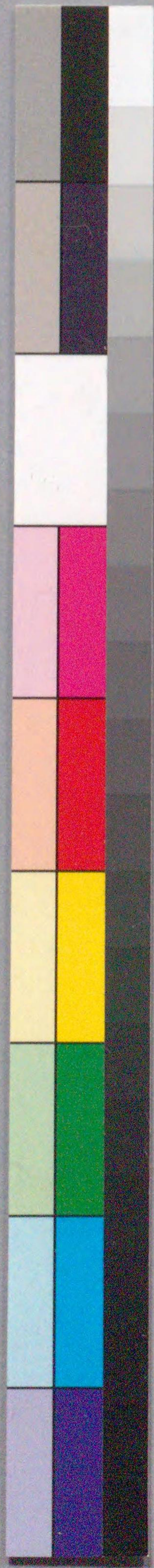




国立国会図書館 浮世の出星操 : 3巻 207-326

ガラス使用





国立国会図書館 浮世の出星操 : 3巻 207-326



ガラス使用

